

「消費生活センター」から身近な情報をお届け

『プロバイダーの二重契約にご注意を!』

現在平戸市内においても、光回線が普及し、インターネットや光電話を利用する人が増えてきました。最近、センターでは「電話代が安くなりますよ」と言っている消費者に電話をかけた際「料金が高くなるなら」と思って契約したところ、後日請求書が届き二重にプロバイダー契約をしてしまったという相談が増えています。

■事例①

「電話代が安くなりますよ」と言っている電話があり、契約したところ、全く別の業者だった。解約には違約金がかかると言われた。

■事例② (50代・女性)

「電話代が安くなりますよ」

と言って電話があり、遠隔操作でパソコンを操作された。その後請求書が届き、全く別の業者だということがわかった。

(30代・男性)

事例からもわかるように、今まで利用しているプロバイダーの料金が安くなると誤認し、契約された人が多いようです。

平成28年5月から「初期解約制度」が導入され、スマートフォンや光回線を誤って契約してしまった場合には、契約書面を受け取ってから8日以内であれば無条件で解約することが出来ます。

おかしいと思ったら、1人で悩まずに、最寄りの消費生活センターに相談しましょう。

問 市民課消費生活センター ☎内線2531

平戸とオランダ - Hiradutch - vol. 4

『名刺の力』

先日、60代くらいのバーテンドーと色々な世間話をしていたら名刺の話になりました。オランダ人も日本人と同じように、仕事関係などで名刺を渡します。

しかし、名刺を渡すタイミングや、交換の仕方は違います。オランダのビジネス文化では、初めて会った人に名刺を渡すことは、珍しいことです。基本的に、ビジネスパートナーと2〜3回打ち合わせし、信頼関係ができた後に、お客様側が名刺交換を始めます。名刺を渡すことで、言葉を使わずに「私はあなたを信用して、ビジネスします」と表現します。

日本では、初めて会うタイミングで名刺を交換し、その後ビジネスするつもりがなければそれまでの関係となります。「名刺で始まり、名刺で終わる」ような気がします。話を続けると、バーテンドーは名刺を差し出し、こう言いました。

「名刺で、職場と地位を自立させて自分の名前をはっきり主張しない人もいます。しかし、私は何よりもまず自分の名前をはっきりと伝えたい。それはある会社の職員だから力があるだけではなく、個人としても力があるということが伝わると思うからだ。」

オランダと日本は多くの点で文化が異なりますが、私が出会ったバーテンドーのお話から、どちらも何か得られるものがあると思いました。



国際交流員
ボエトボニー
(オランダ王国出身)

問 文化交流課交流推進班 ☎内線2269

《「平戸よかよか体操」オリジナルCDおよびDVDを無償貸し出し中です!》

「みんないきいき元気に」

高齢者の通いの場訪問

VOL.34

平戸市では、高齢者がいつまでも元気でいられるために、身近な地区公民館などで健康体操「平戸よかよか体操」を毎週行う場の設置を推進しています。

このコーナーでは、各地区の「高齢者の通いの場」を毎月紹介いたします。

問 長寿介護課高齢者支援班(地域包括支援センター) ☎内線2594



「石原田つつじ会」

石原田地区では、これまで地域で集まる機会が少なく、代表者が区長に相談したことから平戸よかよか体操を行う通いの場が、平成29年5月からスタートしました。

これまで、年に2回程度しか使っていなかった公会堂を、毎週通いの場で利用しています。また、参加者が通いやすいよう、区が公会堂前の斜面をなだらかに舗装しスロープを設けました。毎回、10人程度の参加者があり、まずはラジオ体操、その後に平戸よかよか体操を行い、最後に歌いながら行う脳トレで終わります。体操以外の活動も取り入れることで、介護予防・認知症予防に役立てています。

活動日/毎週木曜日
午後1時30分~午後3時
活動場所/石原田公会堂
対象者/石原田地区ほか
代表/濱田 マリ子

Interview

石原田つつじ会

代表
はまだ
濱田 マリ子さん
(草積町)



根獅子から石原田に9年前に転居してきたため、当初は地域の人のお名前と顔が一致せず、苦勞していました。その折に、平戸よかよか体操のことを伺い、たまたま息子が区長であったことから、市に相談し、公会堂で体操を行うこととなりました。

体操はきつかったりしますが、終わるとスッキリした感じがあります。体操後の脳トレは大きな声で歌って行いますので、体や頭への効果を感じています。

毎回、地区の皆さんが参加し、今まで以上に地域の人たちと触れ合うきっかけになるので、今後も皆で楽しく続けていきたいです。

